

5月 高野山・法隆寺修養行事

高野山と法隆寺の修養行事が開催されました。



7月 29-31日 恒例行事 第42回富士登山

第42回富士登山が2024年7月29日(月)から31日(水)にかけて開催されました。各日生徒130名ずつと引率、サポートの皆様が参加され、総勢300名が関わる恒例行事です。

登山ルートは富士宮口 五合目～元祖七合・八合～山頂～御殿場ルート～宝永火口～富士宮口 五合目。先発組が29日(月)～30日(火)、後発組が30日(火)～31日(水)とそれぞれ2日間にわたり日本最高峰の登頂へ挑戦しました。



2024 インターハイ出場 種目別 成績順位表

在校生インターハイの活躍をお知らせします。



体操競技	団体総合	2位	
	個人総合	2位、6位	
	種目別	平行棒	2位、3位
		跳馬	2位
		床	2位
鉄棒		4位	

ヨット	男子420級	2位
-----	--------	----

テニス	個人ダブルス	2回戦敗退
-----	--------	-------

フェンシング	学校対抗	ベスト8
	個人フルーレ	予選敗退、予選トーナメント1回戦敗退
	エペ	ベスト16
	個人サーブル	予選トーナメント1回戦敗退

新体操	団体	18位
	個人	23位

陸上競技	走り幅跳び	5位
	三段跳び	3位
	4×400mリレー	予選敗退

ボート	男子舵手付きオドルブル	3位
-----	-------------	----

- Information -

清風岩峯会 同窓会 WEB 名簿システムに登録を！

<https://seifu-tohokai.net/>

イベントのお知らせやHP更新など
様々な情報をいち早くお届けします！

公式 LINE Facebook

清風岩峯会会員同士の繋がりを
サポートするためのシステムです。
未登録の方は同窓会ホームページの
フォームより登録申請してください。

教養と知識の象徴 「清風図書館」

2018年に大幅リニューアルした清風学園の図書館。各棚に飾られている七福神像が特徴的です。蔵書数は現在3万1,000冊ほどになりました。リニューアル当初から司書として勤めている鈴木香さん、乾仁人図書部長に現在の図書館づくり、本と生徒のかかわり方などを語っていただきました。

—まずは、図書館をつくり始めたきっかけをお伺いしたいのですが。

乾 図書館の役割として、生徒の知的好奇心を高め、色々な分野への関心を引き出すということがあります。中央館の建て替えに併せて、そのためのきっかけやヒントになるようなものが沢山ある場所をあらためて創ろうという考えの元、大リニューアルが行われました。

—本のラインアップは司書の鈴木さんがお決めになられているのですか。

鈴木 購入リクエストというものを設置して、生徒や先生にタイトルや著者名を書いてもらい、それを参考に本を選定しています。購入したものだけでなく、寄贈書籍も置いています。清風にはついこの間まで小学生だった生徒から、これから大学生になる生徒まで在籍していますので、幅広い年齢の生徒が楽しめるような本をそろえることを考えています。男子校で理系志望者が多いということもあり、科学に関心が持てるようなジャンルの本も多いですね。

—本に関連した学校からの課題などはありますか。

乾 課題ではありませんが、図書館では読書奨励の取り組みとして「100冊歩行」というものを行っています。図書館で選んだ本100冊を在学中に完読しようというものです。皆さんご存じの、本校の伝統行事である高野山までの100km歩行を目指す「100km歩行」にあやかって名付けました。完読達成するとシリアルナンバー入り記念バッジと認定書をお渡しします。図書館で指定した本ですので、自分が読みたい本ばかりではなく、生徒の学年によっては内容が少し難しいものや、あまり共感しに

くく読みにくい本もあるかもしれません。しかし、色々な関心を広めてほしいという意味合いで実施していますので、そこは頑張ってもらいたいですね。

—館内には、特徴的なものとして七福神の彫像が飾られていますね。設置されたいきさつをご存じでしたらお聞かせ願えますか。

鈴木 多くの図書館には、その象徴となる神様や偉人の胸像やレリーフが館内に飾られています。リニューアルの際に、本校の図書館でもそれにならって何か象徴になるような像を置こうということになり、福徳をもたらす神様である七福神の彫像を本棚の横に飾っています。パソコンで蔵書を検索したときに配架場所として神様の名前が出るようになっていきます。神様の名前を見て生徒がその棚を探しに行くというシステムです。

—OBを含め清風関係者の皆さんに何かお伝えしたいことはありますか。

鈴木 図書館がリニューアルしたときのポスターに、たしか「清風の図書館は智の神様がいらっしゃる」というキャッチフレーズが書かれてありました。図書館はいろんな知識に出会ったり、感性を広げるきっかけになったり、人と本を繋ぐという大事な役割を担っていると思います。

乾 図書館に来れば自分の読もうと思った本以外にも目がいきますから、これまで知らなかったことを知



乾仁人図書部長(右)と
司書の鈴木香さん

るきっかけになります。当たり前のことですが生徒はまだまだ若くて知っている世界も狭いものです。だからこそ、私たちは、図書館の一番大きな目的は「生徒の世界を広げること」だと考えています。図書館は、本という、知識や感動の詰まった実のなる「木」が沢山生い茂る「森」のようなものです。生徒にはまず実際に足を運んで「森」の空気を感じてほしいですし、それを自分の世界を広げるきっかけにしてほしいと思います。読まなくてもいいので、来て、触って、重さを感じるだけでもいい。その重さに知識が詰まっています。まずはそんなことを感じてくれるだけでもいいのかなと思います。



Relay Talk 2

「夏の思い出」 雄大な自然や絶景 立山黒部アルペンルートへ

私はハンドボール部の顧問ですので、夏休みは秋季大会や合宿等の部活動のための季節でした。常任委員となつてからは大会運営や鉢伏フェスティバル(後の長浜ドーム大会)も加わり、より一層忙しい季節となりました。

そんな中で「夏の思い出」は、息子が小学5年生の夏休みに行った立山黒部アルペンルートへの2泊3日の家族旅行です。鉄道オタクの息子が関電トロリーバ

スヤトロッコ列車に乗りたいたのがきっかけでした。黒部ダムや黒部平の景観はすばらしいものでしたし、何より家族とゆっくり車で旅行したことが嬉しい記憶となっています。

長屋先生より「夏の思い出」というテーマでご寄稿いただきました。次回のテーマは「私のしあわせグルメ」を予定です。バトンを受け取った方の寄稿をお楽しみに。



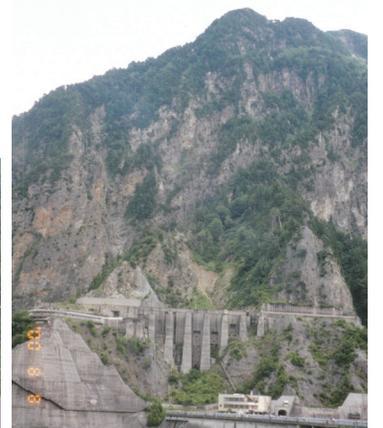
第2回ゲスト

長屋 憲明 先生
高校教頭
理科(物理)

立山黒部アルペンルート

標高 3,000m 級の山々が連なる北アルプスを貫く世界でも有数の山岳観光ルート。

長野県大町市「扇沢駅」から富山県立山町「立山駅」までの総延長 37.2km、最高地点 2,450mを、乗り物を使いながら巡るため、どなたでも気軽に、雄大な自然や絶景を楽しむことができます。



リレートークでは、先生方や事務員の方などさまざまな清風学園を支える皆様により沿った寄稿をしていただき、次の寄稿者を紹介、リレーを繋ぐ企画です。